

# 薬の伝言板

～予防接種～



No. 312 2023年 11月

丸子中央病院 薬局

予防接種とは、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。ワクチンを接種した人が病気にかかることを予防したり、病気にかかっても重い症状になることを防いだり、人に感染させてしまうことで社会に病気がまん延するのを防ぐことを目的としています。



## 予防接種の種類

予防接種法という法律で接種することが勧められている定期接種があります。定期接種はA類疾病とB類疾病に分けられています。A類疾病は主に集団予防、重篤な疾患の予防に重点を置き、国の積極的な推奨があり、本人（保護者）に接種の努力義務があります。B類疾病は主に個人予防に重点を置いています。

分類	感染症名	ワクチン名
A類疾病	Hib（ヒブ）感染症	Hib（ヒブ）ワクチン
	小児の肺炎球菌感染症	小児用肺炎球菌ワクチン
	B型肝炎	B型肝炎ワクチン
	ロタウイルス感染症	ロタウイルスワクチン
	ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ	4種混合ワクチン
	結核	BCG
	麻疹、風しん	MRワクチン
	水痘（みずぼうそう）	水痘（みずぼうそう）ワクチン
	日本脳炎	日本脳炎ワクチン
	ヒトパピローマウイルス感染症	ヒトパピローマウイルスワクチン
B類疾病	インフルエンザ	インフルエンザワクチン（高齢者）
	成人の肺炎球菌感染症	成人用肺炎球菌ワクチン（高齢者）

予防接種法に基づく定期接種以外にも、様々な状況に応じて、ワクチンを接種することができます。これは任意接種と呼ばれています。

### 〈任意の予防接種対象疾患の例〉

带状疱疹、おたふくかぜ、A型肝炎、髄膜炎菌感染症、黄熱、狂犬病、定期接種対象疾患で対象年齢の枠外に行うもの（例：高齢者以外のインフルエンザ、怪我をしたときの破傷風トキソイドなど）

## ワクチンの種類



### ① 生ワクチン

病原体の毒性を弱めて病原性をなくしたものを原材料として作られます。接種すると、その病気に自然にかかった場合とほぼ同じ免疫力がつくことが期待できます。

### ② 不活化ワクチン

感染する能力を失わせた病原体や、病原体を構成するタンパク質からできています。1回接種しただけでは必要な免疫を獲得・維持できないため、一般に複数回の接種が必要です。

### ③ トキソイド

病原体が作る毒素だけを取り出し、免疫を作る能力は持っているが毒性は無いようにしたものです。

### ④ メッセンジャーRNA (mRNA) ワクチン

ウイルスのタンパク質をつくるもとになる遺伝情報の一部を注射し、この情報をもとに、ウイルスのタンパク質の一部が作られ、それに対する抗体などができることで、ウイルスに対する免疫ができます。

生ワクチン	麻しん、風しん、麻しん風しん混合、水痘（みずぼうそう）、おたふくかぜ、黄熱、BCG（結核）、ロタウイルス など
不活化ワクチン	日本脳炎、インフルエンザ、狂犬病、A型肝炎、B型肝炎、ヒトパピローマウイルス、ポリオ、帯状疱疹、肺炎球菌、百日咳（DPT-IPV：四種混合、DPT：三種混合） など
トキソイド	ジフテリア、破傷風 など
mRNA ワクチン	新型コロナウイルス感染症※

※現在、新型コロナウイルス感染症ワクチンには mRNA ワクチン以外のワクチンもあります



### 子供の定期接種はいつ受ければいいですか。

定期接種はワクチンごとに受ける年齢が決められています。通常、最も早く受けるワクチンは生後2カ月からになります。詳しいスケジュールはお住まいの自治体に確認しましょう。

### ワクチンの接種間隔はどれくらい空ければいいですか。

注射生ワクチン接種後に次の注射生ワクチンを接種する際は27日以上の間隔が必要ですが、それ以外では制限はありません。ただし、同一のワクチンを複数回接種する場合はワクチンごとに決められた接種間隔があります。

### 新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは、同時に接種することはできますか。

新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンとの同時接種は可能です。また、それぞれのワクチンを別の日に接種する場合の接種間隔についても制限はありません。ただし、インフルエンザワクチン以外のワクチンの場合は前後2週間の間隔を空ける必要があります。